

ごとう通信

第 237 号

令和 2 年 9 月 1 日

暑さの盛りは過ぎ、少しホツとする時期になりました。晴れた日の青空は本当にきれいで、とても気持ち良いのですが、大きく腕を伸ばして深呼吸をする雰囲気でもありませんね。早く自由な雰囲気になって欲しいものです。

診療中気になることはないのですが、外を歩くときにマスクをする習慣がなかったので夏はとても厄介でした。息苦しくなったり異常に汗が出てきたり。そして…これはしようがないとも思いますが、マスクを外しているとか視線を感じたり。先日、あるお蕎麦屋さんに入ろうとすると入り口に「マスク着用者以外入

店禁止」と書いてありました。もちろん着用していたのでそのまま入ったところ、大きくないお店のお客さん全員がお蕎麦をす

すっていました。もはや、入店時にマスクが必要な理由もわかりません。まあ、特殊な事情ですから皆さん対応に追われているとは思いますが、少し冷静に考える必要もあるなあと思いました。

さて、先日、中断していたある連載の原稿を書きました。いやあ、割と大変。もう30本以上書いている連載なので、少し時間があつたら書けると思っていました。4月から中断し

文章書くのメンドー!



ていましたが、編集部から声がかかり再開することになったのです。これまで連載を複数やっていた

時期もありましたが、この騒ぎになつて「ごとう通信」以外は休みになり、ほとんど原稿のない生活をしていました。すると、本当に文章力って落ちるんですね！ビックリです。言葉は出てこないし、展開は良くないし、助詞の使い方も悪い。以前だと原稿用紙にすると4枚程度、1時間くらいで書けたものが約2倍の時間がかかりました。文章力も衰えると痛感。やっぱり継続しないとだめですね。と

いうことで今回の「ごとう通信」作成に時間かかっています！

伝えること

今年の2月を最後に講演会は中止になったりオンラインになりました。おかげで時間ができ、こういうのも